

平成22年度（平成21年度決算）事務事業評価シート

平成23年 5月20日 作成

				担当課	商工グループ				
事務事業名		横綱記念館管理運営費			施策コード		116161		
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実			法的根拠等	○法令	条例	その他	
	中項目	観光の振興			横綱記念館条例				
	小項目	観光			実施方法	○直営	委託	その他	
	財務名称				委託事業等				
事業概要	二人の横綱が数々の苦難を乗り越えて横綱へと駆け上がっていく様子と輝かしい功績を紹介している。また、毎年、8月には九重部屋力士の夏合宿が行われ町の観光拠点となっている。								
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）				(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	観光客及び町民を対象としている。				千代の山・千代の富士の二人の横綱の出身地として「横綱の里」を中心としたまちづくりを進めており、そのシンボル施設として平成9年に横綱記念館をオープンし、以後、民間業者に委託して管理運営を行っている。				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）								
(1)横綱の里を町内外に紹介する町のシンボル施設									
(2)観光の拠点施設									
1 必要性	(1)関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点			
	○	①法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	横綱の里づくりの中核施設として整備した施設である。			1点	
		②生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		※内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			－	
		③社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。					
		④町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	町が事業主体として整備したものであり、平成9年4月よりオープンしている。管理運営は民間業者に委託している。					
	○	⑤民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点						
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点			
		①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		※法令等で実施内容や手法当が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			－	
	○	②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。					
		③事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	町内の観光拠点としての役割を担っている。					
		④限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
		追加 平成元年に横綱橋、平成2年に横綱街道の整備、平成3年に女相事由 撲大会開催など、「横綱の里」のシンボル施設としてのニーズが	1点						
	2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	1	点		
		○	①施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
			②事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。	1点	平成17年にオープンした福島町青函トンネル記念館とともに、観光客滞留のための施設として有効である。				
		③類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点						
		④町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点			
	区分	指標（算式）		単位	平成19年実績	平成20年実績	平成21年実績	平成21年当初計画	
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標①	入館者数	人	16,540	12,454	13,173	13,000	
		(算式)							
		指標②							
		(算式)							
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標①	入館者一人当たりの管理費	円	641	864	825	850	
		(算式)							
		指標②							
		(算式)							
		①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。					
	○	②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点	ゴールデンウィークと8月を中心に町内の観光拠点として効果をあげている。					
	③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点							

4 効果性	(1)事業費の推移					計	点																																																																																																																																																			
	区 分	単位	平成19年決算額	平成20年決算額	平成21年決算額	平成21年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																																																	
	事業費	千円	10,121	10,596	10,870			低下している	1点																																																																																																																																																	
	国・道費	千円				区分(節)	金額	○ 変わらない	0点																																																																																																																																																	
	地方債	千円				共済費・賃金・	5,254	上昇している	-1点																																																																																																																																																	
	その他	千円	7,109	6,606	5,380	委託料	5,499	説明 経費節減に努めており、ここ数年は、ほぼ横這いで推移している。																																																																																																																																																		
	一般財源	千円	3,012	3,990	5,490	使用料及び賃借	119																																																																																																																																																			
	(2)手法の効率化					計	1	点																																																																																																																																																		
	○ ①現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点	(説明) 手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。 平成9年度オープンより通年営業で運営してきたが、冬期間、入館者に対して管理運営費の比率が高くなるため、平成15年度より12月から3月までの間を休館として運営している。																																																																																																																																																			
	②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点																																																																																																																																																				
③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																																																					
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果 B		項目別点数表																																																																																																																																																							
			<table><tr><th></th><th>項目</th><th>点数</th><th></th></tr><tr><td>1</td><td>必要性</td><td>3</td><td rowspan="2">4</td></tr><tr><td>2</td><td>有効性</td><td>1</td></tr><tr><td>3</td><td>達成度</td><td>1</td><td rowspan="2">2</td></tr><tr><td>4</td><td>効果性</td><td>1</td></tr></table>		項目	点数		1	必要性	3	4	2	有効性	1	3	達成度	1	2	4	効果性	1	<table><tr><th colspan="2">低</th><th colspan="8">必要性+有効性</th><th colspan="2">高</th></tr><tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>達成度+効果性</th><th>高</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>6</td><td rowspan="8">達成度+効果性</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td><td>低</td></tr></table>										低		必要性+有効性								高		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	達成度+効果性	高											6	達成度+効果性											5											4											3											2											1											0											-1										
		項目	点数																																																																																																																																																							
	1	必要性	3	4																																																																																																																																																						
	2	有効性	1																																																																																																																																																							
	3	達成度	1	2																																																																																																																																																						
	4	効果性	1																																																																																																																																																							
	低		必要性+有効性								高																																																																																																																																															
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	達成度+効果性	高																																																																																																																																														
											6	達成度+効果性																																																																																																																																														
										5																																																																																																																																																
										4																																																																																																																																																
										3																																																																																																																																																
										2																																																																																																																																																
										1																																																																																																																																																
										0																																																																																																																																																
										-1																																																																																																																																																
										-2	低																																																																																																																																															
担当課評価 B		※上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 ※評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																																								
A 現状にて事業を継続または拡充（必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い）																																																																																																																																																										
現状のままで事業を継続						事業を拡充して継続																																																																																																																																																				
B 事業の進め方の改善により継続（必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い）																																																																																																																																																										
事業の簡素化、効率化による改善						執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																																				
事業手法の見直しによる改善						住民参加等の推進による改善																																																																																																																																																				
事業内容や契約方法等の見直しによる改善						○ その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																																				
C 事業規模・内容等の見直しの検討（達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い）																																																																																																																																																										
制度・事業内容の全面的な見直しを検討						対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																																				
必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討						他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																																				
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討						その他																																																																																																																																																				
D 事業の抜本の見直しを検討（必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い）																																																																																																																																																										
廃止				統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																																
※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨						廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難																																																																																																																																																
一次評価（担当課評価）の内容や考え方を具体的に記入します。						今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																																				
説明 横綱の里のシンボル施設であり、今後も継続的な管理運営が必要である。						建設後13年を経過していることから、12面マルチビジョンをはじめとした映像機器等の計画的改修が必要となってきた。																																																																																																																																																				
二次評価	庁内委員会 評価 B		A 現状にて事業を継続または拡充				B 事業の進め方の改善・検討が必要				C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																															
			D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨				廃止				統合																																																																																																																																															
							縮小				凍結																																																																																																																																															
							新たな事業への転換																																																																																																																																																			
説明		施設の維持管理経費に対する改善・検討が必要である。																																																																																																																																																								
三次評価	三次評価 B		A 現状にて事業を継続または拡充				B 事業の進め方の改善・検討が必要				C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																															
			D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨				廃止				統合																																																																																																																																															
							縮小				凍結																																																																																																																																															
							新たな事業への転換																																																																																																																																																			
説明		入館者が減少しているので、集客増に向けた取り組みが必要である。																																																																																																																																																								